



議会だより



— もくじ —

- P 2 第4回定例会
- P 3 一般質問
- P 5 議会の視点・論点
- P 11 議会運営委員会視察報告
- P 12 総務産業常任委員会報告
- P 15 研修会・表彰
- P 16 編集後記

「鹿追町環境保全センター」では、バイオガスプラントの運営による発電や水素の製造販売等、カーボンニュートラルに対する取組が行われています。

(総務産業常任委員会道内行政視察にて)

第4回 定例会

会期を12月8日～9日までの2日間と決め、町長行政報告、一般質問、総務産業常任委員会報告、議会運営委員会道内行政視察報告、専決処分の承認、条例制定及び条例の一部改正、指定管理者の指定、令和4年度各会計補正予算、請願について慎重審議し、いずれも原案可決となり、会期を1日残して閉会しました。

- 発議案第1号
今金町議会の議員報酬、費用弁償及び期末手当の額並びにその支給方法に関する条例の一部を改正する条例制定について
- ◇ 令和4年人事院勧告に基づき、期末手当の引き上げを行います。
- 議案第1号
今金町議会議員及び今金町長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部を改正する条例制定について
- ◇ 町村議会議員選挙及び町村長選挙における選挙運動に要する経費の限度額の引き上げを行います。
- 議案第2号
今金町職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例制定について
- ◇ 令和4年人事院勧告に基づき、月例給及び一時金の引き上げを行います。
- 議案第3号
地方公務員法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例制定について
- ◇ 職員の定年年齢が引き上げられる事によるものです。
- 議案第4号
今金町交流促進センターあったからんどの設置及び管理に関する条例及び今金町種川温泉休憩所の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例制定について
- ◇ 入浴料金の改定を行います。
- ◇ (大人料金450円→480円)
- 議案第5号
今金町観光施設に係る指定管理者の指定について
- ◇ ピリカスキー場の指定管理者を(株)TTNコーポレーションに指定します。(期間…令和5年4月1日～令和8年3月31日)
- 請願第1号
農業生産資材高騰対策に関する請願書
(請願者…今金町農業協同組合)



○承認第1号 一般会計補正予算(第7号)

補正額	～主な補正内容(歳出)～	
6億8,573万2千円追加	○令和4年災 町道御影光台線災害復旧工事 外	4億3,200万円追加
補正後 88億2,392万3千円		

○議案第6号 一般会計補正予算(第8号)

補正額	～主な補正内容(歳出)～	
9,938万1千円追加	○価格高騰緊急支援給付金	4,500万円追加
補正後	○家計応援今金産お米引換券換金負担金(物価高騰対策)	582万2千円追加
89億2,330万4千円	○土地改良施設災害復旧事業負担金	1,100万円追加

	補正額	補正後
○議案第7号 国民健康保険特別会計事業勘定補正予算(第3号)	11万9千円減額	→ 8億5,179万2千円
○議案第8号 後期高齢者医療特別会計補正予算(第3号)	216万4千円減額	→ 9,439万7千円
○議案第9号 介護保険特別会計補正予算(第3号)	151万8千円追加	→ 8億7,156万4千円
○議案第10号 介護老人保健施設特別会計補正予算(第3号)	27万5千円減額	→ 4億3,997万3千円
○議案第11号 国民健康保険特別会計施設勘定補正予算(第3号)	448万2千円追加	→ 8億3,901万7千円
○議案第12号 簡易水道事業特別会計補正予算(第3号)	423万3千円追加	→ 1億5,033万2千円
○議案第13号 公共下水道事業特別会計補正予算(第2号)	6,218万4千円追加	→ 3億4,127万2千円

一 般 質 問



村上忠弘 議員

問 農業生産資材高騰に支援を

答 データ分析や実態把握をしながら、関係機関と調整をします。

村上議員 全農は6月上旬、令和5年度肥料価格「物流コストの上昇」「肥料原料価格上昇」等の理由により、過去経験した事が無い、102%を超える値上がりの状況となりました。系統独自価格高騰対策61億円、ホクレン3億円の価格対策で値上げ幅圧縮に最大限努力した結果、主要品目加重平均で前年比78・3%の値上げとなりました。すでに本年10・3%の価格上昇分と合わせる

と約2億弱になります。配合飼料も4月の価格より平均トン当り11、400円引き上げると6月24日付けで、ホクレンより発表がありました。他に農薬、ハウス資材、包装資材等全ての生産資材が値上がりとなりました。特に化学肥料、配合飼料は大幅かつ急激な高騰にさらされ農業経営にとっては、大きなコストアップ要因で生産者にとっては危機的状況です。国は前年度から増加した分7割を支援すると言っているが、計算式に当てはめると上昇分の6割弱位、道は肥料20キロ62円程度です。国道支差分差額として約4割は生産者負担となります。しかも対象は肥料のみの支援です。むかわ町は肥料の値上り分支援を6月議会でいち早く決めております。砂川市は作物別に10アルあたり1、000円から4、000円を支援する等、各地自治体で創意工夫した高騰対策が行われています。

町長 総合行政を担う町長の立場としては、農業分野問わず、様々な分野における影響も考えなければなりません。そういうことから、6月の補正予算で、長引くコロナ禍及び燃油・物価高騰の影響を緩和する施策として、家計と産業分野を網羅した支援に結びつくようにと町内経済好循環の両面を支える家計応援商品券（物価高騰対策）発行事業を実施しています。町長及び北海道農業農村対策協議会会長の立場からも、国に要請をしておりますが、国も支援策を講じていますが、価格高騰がどの位続くのかと話をしているところです。行政対応の前提は、重点化が必要であり、特化した分野に限定する対応も出来ませんが、肥料等の高騰のみならず、経営に及ぼす状況についての情報を持たない行政としては、データ分析や関係機関の協力も無ければなりません。農協の総会では、肥料・飼料の自給に努めて頂きたいと挨拶をしているところです。

村上議員 酪農家では、個体の急落や減産。さらに水田活用交付金の見直しによる収入減、販売物が高騰し、生産資材高騰が値上がりし、生産資材高騰が販売価格に転嫁出来ない状況になっており、これが続くと、1次産業農業の危機的状況になりかねません。早い段階での支援は不可欠だと考えます。

町長 国や道の支援、肥料低減等の生産コスト削減や国産高栄養粗飼料の利用促進等を前提とし、町独自支援では、価格高騰分の補填・穴埋めを行う事にはならないと考えます。長期的に続いた場合、継続して何度かという事にはならず、農業者自身の努力によるコスト削減に向かう事を含め、物価が上昇傾向にあり、先を見通せない中で、支援策の早急な提案は難しく、今後の価格の動きや国の支援策を注視し、関係機関と調整をします。

町長 具体的なものはこれから進めるといいますが、行政としての支援姿勢を強く期待します。また、特化した支援策が、持続可能な農業に夢と希望を持てると思います。

村上議員 肥料だけではなく、様々な物が高騰しているので総合的に考え、まずは家計応援商品券（物価高騰対策）発行事業を行いました。また、農林業振興会議等でも意見交換を行い、実態把握をしながら、対策を考える事が必要だと思えます。

村上議員 来年度は改選期なので骨格予算になりますが、その中にいち早く計上して頂ければ、生産者も安心すると思います。

町長 まずは、各課、団体からの要請等を調整しながら新年度予算の対応をします。

質 問

一 般

問



上村 忠 議員

小中学校における自宅待機など
に対するリモート授業の必要性
について

問

今年を含めて
学年を進め
る4年生以
上の児童・
生徒が、帰
りから持ち
帰ることに
対して、小
中学校全学
年を対象と
して、プレ
ット端末を
配布するこ
とについて

答

上村議員

現在、新型コロナウイルス
感染拡大防止のため、小中
学校において学級閉鎖等の対
応をされています。また、感
染が疑われる児童生徒は、
症状が無くても自宅待機を
しなければならない状況に
あります。この事は、児童
生徒や家族に様々な影響を
及ぼしています。中でも懸
念されるのが、授業が出来
ない事による学力低下と先
生や級友との交流不足から
くる子供の発達への影響に
ついてです。

きたいと思う意欲の低下です。
この事を裏付けるような
データもマスク等で発表さ
れています。全国的にも対応
に苦慮していて、解決策を模
索している状況にあるとい
う事は理解しています。

その上で少しでも現状を改
善する方策として、リモート
授業があると考えます。児童
生徒、教職員ともに症状が
無い場合に授業を受ける、出
来ないようにする事で、様々
な負担の軽減と、どこにい
ても仲間がいるという連帯
感が生まれると思います。

ハード面としての光ファイ
バー網の整備やGIGAスク
ール構想によるタブレット
等がありますから、ソフト面
の体制やルールを作る事で
リモート授業が出来ると思
いますが、教育長の考えを
お聞きします。

教育長

今金町では、令和2年7月
臨時会にて補正予算の議決
を頂き、小中学校へ1人1
台端末354台の整備をしま
した。事業スタート当初、
コロナ禍において国は、小
学校6年生及び中学校3年
生の最高学年における学習
の保障を行うとした方針を
打ち出しました。当時、今
金町内での光ファイバー網
の整備が完了していない
状況であったため、セキ
ュリティ対策を最優先のう
え、家庭に持ち帰る際は、
貸与するLTE回線を使用す
る運用ルールを規定し、学
校での技術的指導や効果的
活用に係る準備期間等を考
慮し、小学校5・6年生、
中学生全学年を対象とした
ところとします。

議員がご心配される状況は、
各学校とも共有し、各学
校担当者及び教育委員会
職員等で組織する「ICT
教育推進チーム」で情報共
有や各学校における具
体的な取り組み等について
検討協議を行っています。
現在、小学校5年生以上
においては、新型コロナウイルス
感染による学級閉鎖等の
対応として、リモート授
業や先生や級友との交流
も行っています。GIGAスク
ール構想本格実施前年
に、今金小学校は全道で
2校のうち1校として道
教委のオンライン学習導
入モデル事業の指定を受
け、6年生が道からのル
ーター貸与で実践検証を
行っています。

現在の中学2年生が一番
慣れている学年とも言え
ます。現在、導入・利用
から約2年が経過し、
町内においても光ファイ
バー網の整備が進ん
だ状況が踏まえ、家庭
でのネット環境等につ
いて保護者アンケート
を実施しました。その
結果を踏まえた評価
検証から、現在の学
校での効果的活用と
指導の向上や、セキ
ュリティを端末自体
に措置する対策等によ
り、端末の運用に係
るルール等について
点検・見直しを行い、
持ち帰り時の回線接
続を家庭のWi-Fi接
続を優先し、Wi-Fi
環境がない家庭や通
信量制限がある家
庭については、SIM
カードを貸与し、
LTE回線を使用す
る。また、持ち帰
りの対象学年を小
学校1年生から4
年生を含めた全
学年とするこ
とを進めてい
るところです。

実施時期については、各
学年の準備や児童への指
導が整い次第、順次行
うことで、この後、「ICT
教育推進チ
ーム」での協議を
経て進めるべく
準備をしている
ところです。

上村議員

重要なのは実施時期であり、

同時という事ですが、速
やかな実施が求められる
と思います。コロナ禍に
入学した子が居る家庭
は特に不安を感じてい
る事を私も聞いていま
す。すぐに本格的な授
業が出来ないまでも、
特に小さな子は慣れる
期間が必要だと考え
ます。また、行う目
処を周知する事で保
護者の安心にも繋が
ると考えますが、今
後のスケジュール
をお聞きします。

教育長

小中学校長にも確認
をしたところ、家庭の
Wi-Fiを使
って良いという事
であれば大丈夫
だという了承を
得ています。教室
で行っている授
業を流して一緒に
居る環境という
ところから進
める事になる
と思います。子
ども達の機械操
作についても、
慣れていくとい
う事でしたので、
対応したいと思
います。

上村議員

優しいさのある教育が
大事だと感じますし、
答弁からその方向
に進めようとい
う事を理解した
ので、是非速やか
な実施を求めたい
と思います。

議会の視点・論点!

～第4回定例会の主な質疑の要約～

～家計応援今金産お米引換券発行事業(物価高騰対策)～ 農林振興課

Q. この事業は家計応援と今金産米の消費拡大促進、2つの目的があります。

メインはどこですか。(山崎議員)

A. 農林振興課の事業で提案をしているので、消費拡大が目的です。また、前は「レトルト米」でしたが、今回は「ゆめぴりか」を配る事により、今まで食べた事がない人にも消費拡大をして頂きたいという願いを込めています。



Q. 米の消費拡大と共に、今金には酪農畜産があるので、牛乳の消費拡大等、何か考えられないのか。

(山崎議員)

A. 今回の事業は農協と打ち合わせをしたので、その他についても、農協と協議をして考えます。

Q. 資材や飼料も高騰しているのに、消費拡大と同時に生産に対する支援も必要だと思う。資材高騰対策を含めた中で、どのように進めていくのか。(山崎議員)

A. ある程度まとまった形で声を出して頂き、そこにしっかりと結びついた支援策を取り、応援する仕組みを持たなければならないと認識します。酪農畜産を含めて、今金町の複合経営がそこで成り立ち、上手に循環して自給作物や肥料が作れるので、その循環型農業は重要な要素であり、減らしてはいけないという認識を強く持っています。(町長)

Q. この事業のチラシには、「引き換えた今金産米を今金産農畜産物・加工食品送料支援事業を用いて地方発送する事は出来ない」と謳っていますが、多くの方に米の美味しさを知って頂きたいのであれば、町内だけではなく、町外にも出していく事が1つの方法だと思うが。(山崎議員)

A. 出来ないと書いた理由は、地元の人に食べて頂きたいというのが第一の目的だからです。

家計応援!!
今金産お米引換券
発行事業(物価高騰対策)

新型コロナウイルス感染症の社会影響や、ウクライナ情勢に伴う世界経済の不安定な状況などを背景とし、家計応援(物価高騰対策)の一環として、お米引換券を発行いたします。
今金町では、家計応援と今金産米の消費拡大を両立するために、今金町農業協同組合の協賛のもと、町民の総額入今金産お米引換券(2kg)を発行いたします。

〇 条件について
1. 交付を受けるには「引換券」が必要です。
2. 引換券は町民個人1枚です。
3. 引換券1枚でお米約1kg(2kg)と引き換えます。
4. 引き換えは任意です。
5. 引き換える際は、本人確認などはありませんが、Aコープ入庫券に購入付けの履歴表にお名前のご記入をお願いします。
ご家族分まとめて引き換えることが可能です。
6. 引換券の再発行はできません。
7. 引き換えた今金産米を、「今金産農畜産物・加工食品送料支援事業」を用いて地方発送することはできません。

〇 交付日種・場所
令和5年1月10日(火)から令和5年2月28日(火)(Aコープ入庫券かね店内引換券)
〇 交付時間
Aコープ入庫券かね店営業時間と同じ(平日・本業 10:00-18:30)
(※家族日及び営業時間外の引き換えはできません。)

監 製:今金町 電話:0137-82-0111(担当:農林振興課) 協 賛:今金町農業協同組合

～クアプラザピリカ～ まちづくり推進課・総務財政課

Q. レストランの営業を休止していますが、今後の調理人の手配や目処について伺います。(村上議員)

A. 調理人を見つけるために町内の飲食店にもあたっていますが、現状は見つかっていません。宿泊の方には、現有のスタッフが夕食・朝食の提供をしています。また、レストハウスも営業は出来ていませんが、センターハウスのレストランは、1月2日から町内飲食店の方に協力を頂き、冬休み期間中は毎日、スキーシーズンの土日・祝日はランチのみ営業をするという事で、ほぼ交渉が整っています。(まちづくり推進課)

Q. 運営計画に「道の駅」的役割とありますが、それは何を指しているのか伺います。(岸議員)

A. キャンピングカーで道の駅に泊まる方が多いという情報を得ており、実際に今年度はRVパークが満員になる状況があったので、令和5年度は、レストハウスの手ぶらキャンプスペースにも一部RV区画を設置し、さらに誘客を高めていきます。また、夏場はレストハウスをトイレとして使えるよう解消します。国交省の正式な道の駅登録にはハードルが高いですが、独自の道の駅的な役割を果たしていきたいという考えです。(まちづくり推進課)



「RVパーク」の様子

Q. 課題を少しずつ克服しながら、町内外の方に喜ばれるような施設作りをお願いしたいと思いますが。(岸議員)

A. 一例では、レストハウス手前のログハウスの改修が終わり、さらにスキー場ゲレンデ降り口からセンターハウスまでは、Wi-Fiが使えるようになっています。特に冬場の集客に向けて指定管理者、我々一丸となって取り組みます。(まちづくり推進課)

Q. 公共施設の今後の在り方を検証する「営繕検討委員会」が庁内にあると思うが、クアプラザピリカの施設はその対象になっているのか。(山崎議員)

A. 「営繕検討委員会」でクアプラザピリカの施設について、検討した事は無いと認識します。(総務財政課)

Q. 以前は100万円以上の費用が掛かるものは、町がお金を出すというようなルールがあったはずですが、今はどうなっているのか。(山崎議員)

A. 修繕等の考え方は、基本的に甲乙協議の中でやる事になっています。町の所有物については、100万円を目安に高額なものは町が修繕をし、それ以外の少額なものは指定管理者にやって頂くという基本ベースはありますが、内容に応じて都度協議をし、対応しているのが実態です。(まちづくり推進課)

Q. 今、想定される修繕はあるのか。(山崎議員)

A. センターハウスの建物について、今すぐ改修するものは挙がっていません。スキー場関連では、鉄塔に付いている滑車を今年10個程交換しますが、来年、再来年と交換していった方が安全上確かだという事をスキーリフトの専門業者からアドバイスを頂いています。これらについては、年次計画を持ちつつ予算を持たなければならないと考えます。(まちづくり推進課)

Q. 運営計画について、「利用の公平性かつ平等性の確保」と書いているが、この内容について伺います。(山崎議員)

A. 指定管理者が思っているのは、運営には指定管理料という相応の税金が入っていて、そこは基本的に平等性を期しつつ、今金町民にも親しまれるような施設にしたいという事での表現だと思います。例えばスキー場のシーズン券には今金町民20%割引があり、町民還元を意識し、施設運営を頂いているので、その思いでの文章表現というふうに側聞しています。(まちづくり推進課)

Q. 運営計画に、将来的には道の駅にするという事が書いてある。道の駅の話は20年間、出ていない。ここで謳うと道の駅になるという話になる。運営会社が意欲を持ち、行って頂くのは良いですが、町のやるべきところと、運営会社にやって頂くところを明確にしなければならないと思うが。(山崎議員)

A. 道の駅については、指定管理者の思いが強い記載になっていますが、これから3年間で協議をし、実現の方向には向かっていきます。ただ、現状では国交省の正式登録にはハードルが高いです。施設の整備面では色々ありますが、指定管理者が自主的に投資をするのか、町側が考えるのか、今後協議をしていく部分だと思います。(まちづくり推進課)



「クアブラザペリカ」

Q. ハードルは高いけれども、この3年間で道の駅の実現に向かうという事で、理解して良いのか。(山崎議員)

A. 「TTNコーポレーション」が思っているのは、人が集まり、トイレがあたり等、もっと身近な施設にしたいという試みでの「道の駅的」と聞いています。今の段階で言えるのは、通常の道の駅を目指すものではないという事です。(副町長)

～あったからんど・種川温泉～ まちづくり推進課

Q. 令和5年度の料金改定後、誘客に向けた仕掛けについて伺います。(岸議員)

A. 集客を高める施策として、過去にはシャンプー等のアメニティ設置を行い、直近では浴場内に入浴者が休憩出来るようなイスを置いています。また、脱衣場トイレのウォシュレット化や和室のエアコン整備等、その都度、満足度を高められるような施策を実施しているので、今後もアイデアを出し実施をします。



「あったからんど」

Q. 大人と大人回数券のみ値上げですが、他の項目が据え置きの理由を伺います。(岸議員)

A. 北海道の物価統制額で示されたのが大人30円の引き上げで、年によっては中人等の値上げもありますが、今回はそれが無かったためです。また、65歳以上の入浴券は町独自なので、平成20年から据え置きの料金を設定しています。現在、福祉施策の色々な見直しをしており、これも合わせて福祉部門に検討のお願いはしていますが、現状は大人30円の引き上げのみとしています。

Q. 料金が上がる事についての広報・周知や、誘客の取り組みを期待します。(岸議員)

A. 町広報誌や各施設の掲示等で広報を行います。集客については、施設を継続的に維持していけるような管理・運営に主眼を置き、細かな部分はその都度改善をします。

～8月16日の大雨災害～ 農林振興課・くらし安心課・教育委員会

Q. 農産被害等、町内全域に渡ってどの位の被害があるのか伺います。(山崎議員)

A. 農業被害等を含めて2億3228万178円です。(農林振興課)

Q. 今回の災害について、町としてどのような点検をしたのか伺います。(山崎議員)

A. 職員体制、避難所の対応、排水対策、復旧対応、防災無線、土嚢の検証を行い、課題も見えてきたので、各課で情報を共有しました。今後は迅速に対応が出来るよう、各種団体にも情報を提供します。(くらし安心課)

Q. 防災の検証を行うのは防災会議だと思う。防災計画を見直し、今後の対応を示してほしかったが、その辺の協議について伺います。(山崎議員)

A. 今金町は必ず防災会議を開催し、その都度議論等を行っています。時期は2月から3月頃を考えていますが、そこで評価や検証をし、対応を取らなければという認識です。また、防災会議の意向を踏まえ、防災計画策定に臨む事が重要です。(町長)

Q. 防災計画の1番の柱は、大雨による浸水や冠水の防災対策になると思う。日本一の清流である後志利別川の流域に住む者として、皆で意見を出し合いながら、私達独自の対策を作って頂きたい。(山崎議員)

A. まずは町としての実態や状況を捉え、町が取れる対応は町が取る、取れなければ道や国にお願いをする事が必要だと認識します。(町長)



清流日本一「後志利別川」

Q. 実際の災害箇所と町が対応をする箇所で差があります。外れた箇所はどのような対応をするのか。(向井議員)

A. 公共的なものではないので、自身にやって頂かなければならない所と、土地改良区等がやる所もあるので、その差異が出ているという事です。(農林振興課)

Q. 大きな被害で、個人での対応という事にはならない箇所もあると思います。その支援についての考えを伺います。(向井議員)

A. 例えば山が崩れて民地の畑に土砂が流れ、その間にある排水路に関しては、町がやっています。ただ山と畑の場合、それぞれの所有者が話合いの元で解決をして頂きたいですが、このやり方は今後考えていきます。(農林振興課)

Q. 今回の災害で、子ども達に心理的なストレスが掛かった話がありますか。また、災害についての取り組みを伺います。(岸議員)

A. 子ども達が心理的に困った状況という話は来ていないので、無いと認識しています。防災に対する授業は年に1回、避難訓練等の対応を各学校で行っています。(教育委員会)

Q. 例えば、心理的ストレスが出るような状況になった時の体制は、教育委員会として取っていますか。(岸議員)

A. まず初めに、一番傍に居る担任の先生に対応をして頂きたいと思ひますし、学校もそのような認識です。(教育委員会)

～ふるさと創生支援事業補助金～ まちづくり推進課

Q. 「i・スマイル」が新しく男爵の皮剥き機械の導入をするので、それに補助をするという事ですが、現在1次加工業務に関わっている雇用人数と主な販売先を伺います。(日置議員)

A. 雇用状況は、主体となり仕事をしている方が6名と、地域おこし協力隊1名が作業等に加わっています。また、不定期ですが時期に応じて、パート職員数名を雇用しています。主な販路先は「さくらフーズ」と業務提携をし、販路を開拓している状況だと伺っています。

Q. 販路は間に合っているが、今の状態だと量が足りないのが、機械を入れる事でさらなる拡大を図りたいのか。それとも、これから新たに販路を増やしたいのか。(日置議員)

A. 主要な所からも総量が足りないのが、増やしてほしいという話があるという事です。その他、町内流通も増やしていきたいという事です。

Q. この事業について始める時と、こういった結果が出たのかを議会にも示して頂く事が必要だと思います。(山崎議員)

A. 報告書を内部だけに留まらず、どんな状況になっているのか、今後分かりやすく伝える方策を取ります。

～マイナンバーカードと保険証～ 国保病院

Q. マイナンバーカードと普通の保険証では診療報酬の点数が違うという事でしたが、この問題は解決出来たのか。(山崎議員)

A. 1月中にはマイナンバーカードの利用が出来る環境を作っていきますが、診療報酬の差は、あくまでも、マイナンバーカードを使った際という事になるので、導入後はそのような仕組みになる事をご理解下さい。

Q. システムは良いと思うが、診療報酬が高いと利用者の負担になる。カード取得と認証制度を同時に進めると個人負担が増える。これはどう対応するのか。(山崎議員)

A. 10月から診療報酬の一部が見直しをされ、マイナンバーカードを使った方が診療報酬の算定上、安くなると認識をしています。本来システムが導入されていたら、安い診療報酬で診察を受ける事が出来るので、少しでも早い導入を進めます。

Q. 診療報酬改定がいつあって、安くなったのか。(山崎議員)

A. 10月1日に診療報酬の改定がされ、現状は新しい料金です。



システムのイメージ

議会運営委員会 道内行政視察報告書

空知管内栗山町 議会におけるタブレットの利活用について（7月13日）

【タブレットの利活用（ICT化の推進）の状況】

オンライン会議実施環境の整備、議会等のペーパーレス化の推進、確実な連絡手段の確立、議会専用インターネット環境の整備、議会広報手段の多様化と充実を目的として、令和2年度にタブレット端末25台を導入している。

導入費用はペーパーレス議会システムを含め422万2千円、ランニングコストは通信料・システム使用料をあわせ、月額で約13万8千円となっている。

導入における効果として、感染症対策下や悪天候でも「集まらずに会議が開ける」、議案や議会資料などの即時共有化、印刷製本作業に係る時間と労力の大幅軽減、議会の広報活動・情報発信の日常化などが期待されており、広報委員会においてはフェイスブックの立上げやオンライン会議の試行が行われている。

議員の反応としては、「どこにいても資料の参照ができる」「操作に不慣れなため、慣れるまで時間がかかる」など様々な声があるように、議員各々の活用頻度や活用スキルに差があり、当初の目的どおりに活用が浸透していない状況から、ペーパーレス化やオンライン会議の実施には段階を踏んで進めていくことが必要となっている。

また、タブレットの寿命やサポートの終了、ICT等の技術進歩に応じた更新が必要となることも今後の課題となっている。

今金町議会としての今後の取り組み

今後、議員活動におけるタブレットの活用は、例規集や会議録の検索、資料の共有化などに有効なツールであり、将来的なペーパーレス化によるコスト削減や労力の軽減も期待できることから、早期導入に向け理事者と協議を行うことが必要である。

上川管内愛別町 議会ハラスメント防止条例制定の経緯等について（7月14日）

【議会ハラスメント防止条例制定の経緯等】

愛別町ではこれまで、議員によるハラスメントが確認された例はないが、オホーツク管内で、町職員が上司のパワーハラスメントにより自殺した事例を問題視したほか、愛別町が「職員のハラスメント防止等に関する要綱」を整備したことが背景にあり、「起きてからの制定では遅く、未然に防ぐことが大切」と、議員による職員や同僚議員へのハラスメントの防止を目指し、全国で10自治体、道内では愛別町だけ（3月現在）となる条例を制定している。

今金町議会としての今後の取り組み

社会問題となっている各種ハラスメントの防止については、研修などを通じて議員間の共通認識とし、議員活動を行うことが望ましい。



栗山町



愛別町

議会運営委員会
委員長 徳田 栄 邦
委員 山崎 仁
委員 村上 忠 弘
委員 岸 徹 也

総務産業常任委員会報告

1. 所管事務調査項目

(1) 総務グループ

- ① 一般会計の財政状況について
- ② 行政財産の管理状況について
- ③ 行政改革の進捗状況について
- ④ 公衆浴場等の管理運営状況について
- ⑤ 商工観光振興対策事業について
- ⑥ まちづくり振興対策事業について
- ⑦ 総合計画の進捗状況について
- ⑧ 税及び税外収入の収納状況について
- ⑨ 社会福祉施設及び団体の運営状況について
- ⑩ 総合福祉施設の管理運営状況について
- ⑪ 介護老人保健施設の管理運営状況について
- ⑫ 国保病院の管理運営状況について

(2) 産業グループ

- ① 農林業振興対策事業について
- ② 農作物の生育状況及び気象状況について
- ③ 建設工事等の進捗状況について（農林振興課所管）
- ④ 産業後継者就業実態対策について
- ⑤ 国営緊急農地再編整備事業の進捗状況について
- ⑥ 農業後継者就業状況について
- ⑦ 生活改善センター等の管理運営状況について
- ⑧ 建設工事等の進捗状況について（公営施設課所管）
- ⑨ 簡易水道等施設の管理状況について
- ⑩ 浄化センターの管理運営状況について
- ⑪ 教育委員会所管施設の管理運営状況について

(3) 8月16日大雨災害実態調査

2. 調査目的 所管事務調査及び8月16日大雨災害実態調査

3. 調査日程 所管事務調査 令和4年7月20日（水）～21日（木） 大雨災害実態調査 令和4年8月31日（水）

4. 調査結果

(1) 総務グループ

所管事務調査項目に挙げた12項目については、提出された資料により調査をした。

また、現地調査については、新型コロナウイルス感染症予防の対策を取り、クアプラザピリカの運営状況、ピリカスキー場グレンデの状況を現地に出向き調査した。

なお、特に福祉施設などの現地調査は、新型コロナウイルス感染症予防の観点から本年度も取りやめとした。

(2) 産業グループ

所管事務調査項目に挙げた11項目については、提出された資料により調査をした。

また、現地調査については、新型コロナウイルス感染症予防の対策を取り、町有林伐採工事の状況、町指定文化財の状況、旧石器文化館の運営状況、御影光台線の状況、防災備蓄庫備蓄品の管理状況、今金中学校改築工事の進捗状況、田代橋長寿命化修繕工事の進捗状況、国営緊急農地再編整備事業の進捗状況、水稻試験圃場の生育状況、旧金原小学校の管理状況、豊田3号樋門の状況、旧神丘小学校の管理状況について、現地に出向き調査を行った。



(3) 大雨災害実態調査

町道今金光台線、町道御影光台線、奥種川本塚地先無名川、下メップ上田地先ほ場、稲穂鎌田地先ほ場、白石杉林地先排水路、町道幾代線、町道日進金原線、豊田3号樋門、神丘丸山地先無提地区、町道神丘9号線、今金2号樋門の12箇所について、現地へ出向き調査を行った。

5. 意見

(1) 総務グループ

令和3年度の財政状況は、今金中学校改築事業をはじめ、光ファイバー網整備事業、高美公園整備事業などに伴い、投資的経費が増加となっている。今後も大型の公共施設整備が見込まれることから、将来を見据え、より効率的な財政運営に努めていただきたい。

介護老人保健施設においては、入所利用者数が増加となっており、今後も効率的な施設運営に努められたい。

国保病院については、外来患者数が減少しているが、入院患者数は増加の状況となっている。また、電子カルテ・オーダーリングシステムの運用により診療の効率化が図られている。今後も町民から信頼される地域の基幹病院として、その役割を果たせるよう努めていただきたい。

クアプラザピリカの運営状況は、未だコロナ禍の影響はあるものの回復傾向にあり、今後の観光需要の回復と更なる営業努力に期待をする。

スキー場ゲレンデについては、国による地滑り箇所調査が終了し、改修に向けた検討がされているが、今後も営業継続に向け努力されたい。



(2) 産業グループ

御影光台線の状況について現地を確認した。今後も町道における十分な安全確保に努められたい。

防災備蓄庫備蓄品の管理状況について現地で説明を受けた。今後も想定される災害に対応した備蓄品の充実、適切な管理に努めていただきたい。

今金中学校新校舎は、順調に施工が進み今年度完成を迎えるが、生徒たちにとって快適な学習環境になるものと期待する。

田代橋長寿命化修繕工事については、今年度より6ヶ年の計画で行われるが、周辺住民の生活に配慮をしながら、順調に工事が進むことを望む。

国営緊急農地再編整備事業今金南地区・下八東南工区において進捗状況の説明を受けた。今後もそれぞれの地区がより良いほ場となるよう事業が進むことを望む。

農作物の作況については、春先は好天に恵まれたが、6月と8月の大雨による影響もあり、全ての作物において概ね平年並みの収量となっている。

旧金原小学校においては、自治会が利用している部分があることから、今後も適切な管理に努められたい。

豊田3号樋門の状況について現地で説明を受けた。効果的な排水対策について、今後も関係機関と協議いただきたい。

旧神丘小学校は地域の避難所となっている。更には自治会や多くの団体に利用されていることから、今後も適切な管理に努められたい。

(3) 災害実態調査について

観測史上最多を記録する226ミリという降雨により、町内全域に避難指示が出され、市街地や下トマンケシ地区、鈴川地区などで床上浸水16件、床下浸水57件が発生した。特に市街地の第2幹線川流域ではこれまでに経験のない広範囲での被害が発生し、避難所である総合体育館にも水が迫る状況となった。

更に、農地においても、豊田3号樋門周辺、下トマンケシ地区、イマヌエル地区、豊受地区などで冠水により農作物の被害が発生している。

また、日進金原線や神丘9号線など道路の路肩決壊や法面の崩壊、河川の増水や土砂崩れによる水路の閉塞など、町内全域に渡り多大な被害があり、光台地区では御影光台線の土砂崩れの影響で停電も発生している。被災箇所が町内全体に渡るため早期な復旧が望まれる。

今回の被災経験により、今後の災害対策には万全を期すよう取組んで頂きたい。



総務産業常任委員会 委員長 山崎 仁

委員会の活性化と資質の向上を図る事を目的とし、道内外先進地視察を実施しています。報告については、令和5年3月の第1回定例会を予定しています。

総務産業常任委員会 道内行政視察



バイオガスプラントの特徴とは？
家畜ふん尿や生ゴミといったバイオマスを発酵させ、発生するバイオガスを利用して、電気や熱エネルギーを作ります。それを活用し、温室効果ガス削減、肥料製造、水素自動車の実証事業、水耕やマンゴー栽培等を行っています。



厚真町役場（11月2日）
「エネルギー地産地消事業について」



青森県六ヶ所村（10月20日）
「六ヶ所村次世代エネルギーパーク」
太陽光や風力発電等、各施設の視察研修を行い、エネルギーに対する知見と理解を深めました。





道南地区森林・林業・林産業活性化 推進議員連盟連絡会 総会及び研修会

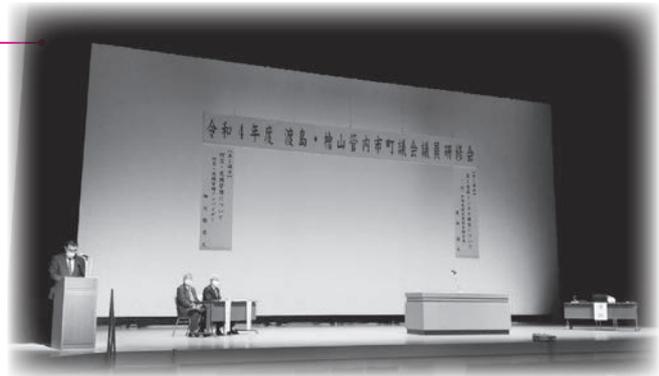
渡島・檜山管内の森林等の振興と諸課題等に対応するため、情報交換や調査研究を行いました。

(10月6日 せたな町民ふれあいプラザ)

渡島・檜山管内市町議会議員研修会

議会の活性化と資質の向上等を目的として開催されました。今回は、「第2青函トンネル構想について」「防災・危機管理について」と題した講演が行われました。

(10月18日 北斗市「かなで〜る」)



北渡島檜山4町議会連携事業

4町(今金町・せたな町・八雲町・長万部町)の議会交流及び、ケアラーに関する知見を広げる事を目的として、「ケアラー支援と北海道における取組み」と題した講演が行われました。

(11月17日 八雲町役場)

北海道社会貢献賞受賞

山崎仁議員に対し、北海道知事から令和4年度北海道社会貢献賞が授与されました。これは町村議会議員として、25年以上にわたり、地方自治の振興発展に貢献した功績が認められたものです。

(11月30日 札幌市)



～ 議会の動き ～

10月

- 6日 総務産業常任委員会
道南林活議連総会・研修会
- 11日 広報発行特別委員会
- 14日 檜山広域行政組合議会（江差町）
- 18日 渡島檜山町村議会議員研修会
- 19日 総務産業常任委員会道外視察（～21日）
- 26日 檜山町村議会議長会先進地行政視察（～28日）
- 29日 総合文化祭開会式及び表彰式 美術書道展表彰式
- 31日 総務産業常任委員会道内行政視察（～2日）

11月

- 6日 第3回エッセイ（作文）コンテスト表彰状授与式
- 7日 檜山町村議会議長会先進地行政視察（～8日）
- 8日 今金町功労者・善行者表彰式
- 9日 全国町村議長大会
- 10日 北部桧山衛生センター組合議会行政視察（～11日）
- 13日 商工会女性部設立50周年記念式典
- 29日 総務産業常任委員会（総務G）

12月

- 2日 総務産業常任委員会（産業G）
- 5日 議会運営委員会
- 8日 第4回定例会
- 12日 ピリカスキー場安全祈願祭
- 20日 檜山広域行政組合議会（江差町）
- 22日 北部桧山衛生センター組合議会定例会（せたな町）



総務産業常任委員会道内行政視察（厚真町にて）

議会を傍聴しませんか？

（定例会と常任委員会を原則公開しています。）

「議場」で傍聴される方は

入口備え付けの受付票に住所、氏名、年齢を記入し、受付箱に投函後、傍聴して下さい。

「Youtube」で、ライブ中継をご覧になる方は

今金町ホームページの「今金町議会」を選択「議会メニュー」の「議会中継」からお入り下さい。

「過去の議会中継」をご覧になる方は

「Youtube」で「今金町議会」と検索。もしくは、DVD（保存4年間分）を貸出しておりますので、議会事務局に申し込み下さい。

※令和5年第1回定例会は3月に開催予定です。

近くなりましたら、ホームページや新聞折り込みで、日程等をお知らせします。

編集後記

新春のお慶び申し上げます。

新型コロナウイルスが未だ終息せず、イベントの自粛、中止が続いています。

また、ロシアのウクライナ侵攻、円安などにより、生産資材や飼料、肥料、燃料の物価高騰など厳しい状況が続いています。さらには、6月と8月の記録的な大雨に見舞われました。

令和5年は卯年なので、飛躍の1年とし、安心、安全に暮らせるようお祈り申し上げます。

（内ヶ島祐一）

広報発行特別委員会
委員長 岸 徹也
副委員長 内ヶ島祐一
委員 山崎 仁
委員 川上 絹子
委員 村上 忠弘